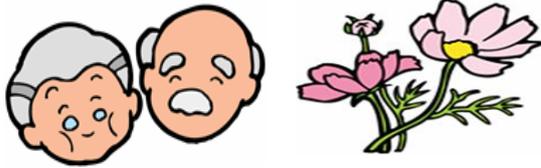


# コスモスの家だより

2022年11月吉日

【特定非営利活動法人 秋桜舎 コスモスの家】



川崎市多摩区三田2-5-3

TEL:044-932-2425/FAX 044-932-2441

ホームページ:<http://www.cosmosnoie.com/>

E-Mail:cosmos@kinet.or.jp

## 川崎市社会功労賞受賞のお知らせ(次ページ参照)

この度、私、理事長の渡辺ひろみは、川崎市の社会功労賞を受賞いたしました。高齢者福祉分野(テイサービス)と児童福祉分野(保育園)におけるコスモスの家の活動が評価されての受賞となりました。

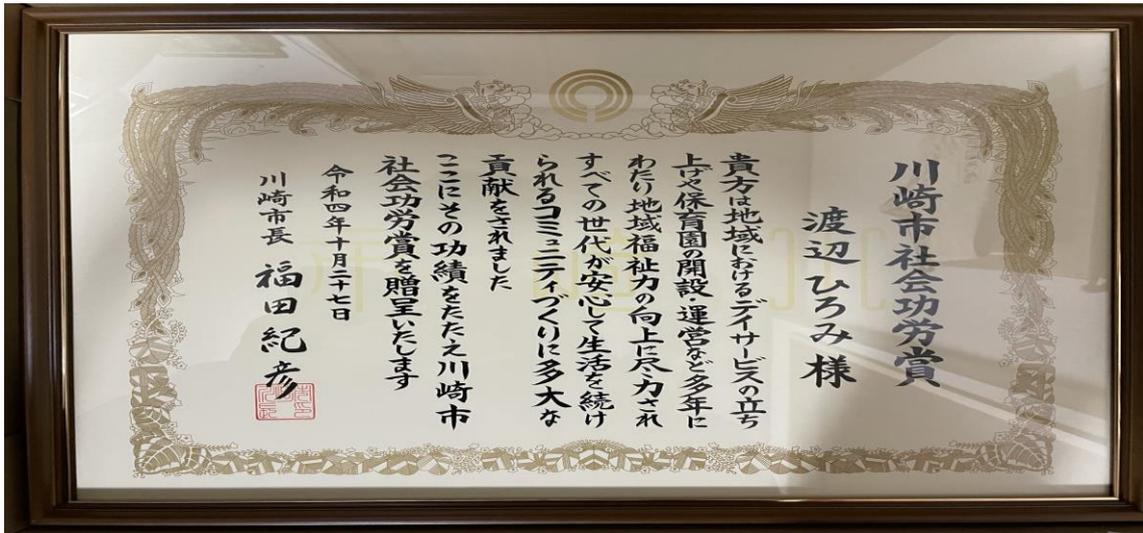
コスモスの家が産声をあげたのは1989(平成元)年10月です。きっかけは連れ合いを亡くし、団地で一人暮らしになった70歳のご婦人の「気軽におしゃべりできる集まりが近所があれば…。一番怖いのは孤独なのよ」という言葉でした。このご婦人の言葉に団地の主婦たちが立ち上がり、辺りにコスモスの花が咲き乱れるころ、団地集会所の和室を借りて10名ほどのささやかな「コスモスの会」がボランティア活動としてスタートしました。こうして団地の主婦たちが立ち上げた「コスモスの会」というボランティア活動はいくつもの飛躍を経て現在の特定非営利活動法人(NPO法人)「秋桜舎 コスモスの家」へと発展しました。

また、2008年に完成した750世帯の大規模マンションのレイディアントシティ向ヶ丘遊園では、マンションの敷地内に保育園が設置され、マンション完成当初から企業系の保育園が参入していました。しかしながら、2012年に当該企業系の保育園が撤退し、登園していた子どもたちが行く当てを失っていた時、地域の方々から特定非営利活動法人 秋桜舎 コスモスの家に保育園をやってもらいたいという声が上がリ、同年「コスモす保育園」が開園されました。「コスモす保育園」は2013年に川崎市認定保育園B型に認定され、そして、2016年には川崎市認定保育園A型に認定されるというように、いくつもの飛躍を経て今日に至っております。

30数年の長きにわたり、事業を発展、そして継続できましたのは利用者とそのご家族、スタッフ、ボランティアの方々、無数の地域の方々のご支援があったからこそです。これまでの皆さまのご支援に心からのお礼と感謝を申し上げます。

コスモスの家の活動には行政との協働が不可欠です。今後も行政とタイアップし、必要な支援を仰ぎながら事業を継続し、加速度的に少子高齢化が進行する現代社会において、高齢者福祉(介護支援)と児童福祉(子育て支援)で地域社会に貢献していく所存です。つきましては、引き続き、皆さまのご支援、よろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 秋桜舎 コスモスの家  
理事長 渡辺ひろみ



## 川崎市 4賞に8人選出

文化賞など  
社会功労賞 渡辺さん「人生最良の日」

川崎市は今年度の市文化賞、年度文化賞の藤子三雄賞、賞など4賞に、2月の北京五輪スピードスケート男子500メートルで銅メダルを獲得した藤重航選手（専修大4年）ら8人を選び、中

（前列左から）渡辺さん、関さん、福田紀彦さん、川崎市長、佐々木さん、小倉さん、後列は左から3人目が市川さん、ほか3人は代理出席

「スポーツ賞」には藤重選手のほか、自転車世界選手権メダリストの舘輪、佐藤水選手23を選出。期待の若手・中堅向けの「アゼリア輝賞」には、パリ・歌手の市川有郎さん30と、世界の国際ユース大会などで優勝を重ねる張本美和選手14（市立川中島中2年）が決まった。

贈呈式には賞者5人と代理の3人が出席。「人生最良の日」言葉にできない喜びです」「渡辺さんなど、それぞれ感謝の言葉を述べた。

「社会功労賞」に選ばれたのは、帰国子女・外国人支援のボランティア活動などに取り組んだ小倉敬子さん75と、30年以上前に「イサー」サービス開始を始めた渡辺ひろみさん87。

2022年10月28日 読売新聞  
2391人感染  
7人死亡  
は27日、新たに2人の新型コロナウイルスが発表された。横

購読は  
0120-4343-81

350  
300  
250  
200  
150  
100  
50

2・6倍の2.65倍に増加 青休校舎が、21年度

部ス